

会 議 録

会議の名称	第7回弥富市総合計画審議会
開催日時	令和6年1月15日（月） 午後1時30分～3時30分
開催場所	弥富市役所本庁舎5階 協議会室
出席者及び欠席者	出席者：藤井勉（会長）、入江容子（職務代理）、高谷昇、鬼頭由美子、児玉日佐美、榊原進、南谷元尚、井上猛、奥村明彦、八木輝治、清水香菜、東嶋とも子、手嶋正章、今井いずみ、鈴木裕一（順不同） 欠席者：伊藤肇章、佐藤博孝、伊藤善啓、伊藤恵造、釜田公良（順不同） 事務局：市長、副市長、教育長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、建設部長、教育部長、議会事務局長、総務部参事、企画政策課長、企画政策課職員4名、(株)ぎょうせい3名（順不同） 傍聴人：0名
会議内容	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 （1）パブリックコメントの実施結果について （2）後期基本計画（案）について 4 その他 5 閉会
会議資料	1 次第 2 資料1 第2次弥富市総合計画後期基本計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について 資料2 第2次弥富市総合計画後期基本計画の概要 資料3 第2次弥富市総合計画後期基本計画（案） 資料4 答申書案

発言者	会議の経過（議題・発言内容等）
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>1 開 会</p> <p>皆さん、こんにちは。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>定刻前ではございますけれども、皆さんおそろいですので、審議会のほうを始めさせていただきます。</p> <p>それでは、御連絡のほうをさせていただきます。</p> <p>当審議会は、弥富市総合計画審議会運営要領において、原則公開することとされており、また、弥富市総合計画審議会傍聴要領で傍聴について規定をしております。本日、傍聴の方はおられませんでしたので、御連絡のほうをさせていただきます。</p> <p>それでは、ただいまより、第7回弥富市総合計画審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日、司会を務めさせていただきます企画政策課長の佐藤と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>本審議会は、会議録作成のため録音をさせていただきますので、御了承ください。</p> <p>また、御発言の際は、お手元のマイク操作を事務局のほうで行いますので、スイッチ等は触れず、挙手にてお願ひいたします。</p> <p>なお、会議録及び会議資料は原則公開することとし、委員名簿につきましても、お名前、所属、役職は公開することとしておりますので、御承知おきください。</p> <p>続きまして、欠席委員の御連絡をいたします。</p> <p>本日は、委員名簿3番 伊藤肇章委員、5番 佐藤博孝委員、10番 伊藤善啓委員、12番 伊藤恵造委員、16番 釜田公良委員より欠席の御連絡をいただいておりますが、定足数を満たしておりますことを申し添えます。</p> <p>会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。本日、机の上に、配席図、委員名簿をお配りしておりますが、そのほか、先日郵送にて送付させていただきました資料はお持ちでしょうか。もし、お持ちでないようでしたら挙手にてお申し出をお願ひいたします。</p> <p>本日の第7回審議会におきましては、次第にもございますが、パブリックコメントの実施結果についてと後期基本計画（案）について御協議いただきたいと思います。次回は答申を予定しておりますので、実質的な議論は本日が最終となります。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の会議は午後3時30分までとしておりますが、議事の終了をもちまして閉会とさせ</p>

	<p>ていただきます。皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に基づきまして進行させていただきます。</p> <p>次第の2、あいさつに移ります。</p> <p>始めに、安藤市長、よろしくお願いいたします。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>第7回弥富市総合計画審議会をお願いいたしましたところ、公私とも御多忙の中、御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、委員の皆様方には、日頃から市政各般にわたりまして、御支援と御協力を賜り、重ねてお礼を申し上げます。</p> <p>今年の辰年のスタートは能登半島地震、そしてまた2日には航空機の事故で、本市におきましては3日に3名が亡くなるという火災が発生をしておるところでございます。このような辰年のスタートであったわけではございますが、この後は、市民の皆様が安全に、また安心して災害のない日々が続きますことを願っているところでございます。</p> <p>さて、第6回総合計画審議会では、後期基本計画素案について、委員の皆様から様々な御意見、御指摘をいただき、また熱心に御審議いただいて、後期基本計画（案）が取りまとめられ、去る11月1日から1か月間、第2次弥富市総合計画後期基本計画（案）策定のためのパブリックコメントを実施し、2名の方から18件の御意見をいただいたところでございます。本日はいただいた御意見に対しまして、市側の考え方をお示しさせていただきます。</p> <p>今回の審議会が、後期基本計画（案）に関わる最終的な審議の場となりますので、委員の皆様方におかれましては、慎重審議の上、どうか忌憚のない御意見、御提言を賜りますようお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>安藤市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、当審議会会長より御挨拶をいただきます。</p> <p>藤井会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>皆様、明けましておめでとうございます。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>皆様、明けましておめでとうございます。</p>

	<p>安藤市長がお話しされたように、元旦から能登半島の地震等、非常に大変なことが多い新年のスタートとなってしまったかなと思います。ですがここにいる皆様、そして、弥富市の皆様にとって、よい1年になることを願っているところでございます。</p> <p>この総合計画後期基本計画も7回目の審議会を迎えまして、終盤となります。ここまで、事務局はじめ、市役所の皆様が本当に丁寧にアンケートの調査からワークショップ、そして、委員の意見等々を集約していただきまして、大変な御苦勞もあつたかなと思いますけれども、まとめていただいたところが完成に近づけていると思っております。改めて感謝を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>そして、審議委員の皆様におかれましても、多様な御経験、そして立場から、いろんな角度からの御意見を頂戴いたしまして、私のような拙い進行の中でも、この計画をよりよいものにするために多数の御意見を頂戴できて、完成に近づいているかなと思います。改めてありがとうございます。</p> <p>そして、本日は、次回が答申となる予定でございまして、後期基本計画が承認されて完成となるのが本日の審議の目的になりますので、改めて本日も御審議のほどよろしくお願ひいたします。</p> <p>以上になります。</p> <p>3 協議事項</p> <p>事務局（佐藤企画政策課長） ありがとうございました。 続きまして、次第の3、協議事項に移ります。 ここからの進行につきましては、藤井会長の取り回しでお願いいたします。</p> <p>藤井会長 それでは、協議事項、順番に進めさせていただきます。 一つ目になります。3 協議事項「(1) パブリックコメントの実施結果について」、事務局より御説明のほどよろしくお願ひいたします。</p> <p>事務局（伊藤） それでは、パブリックコメントの実施結果について御説明いたします。 資料1「第2次弥富市総合計画後期基本計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について」を御覧ください。 令和5年11月1日から12月1日までの約1か月、「第2次弥富市総合計画後期基本計画（案）」についてパブリックコメントを実施しましたところ、お2人から計18件の意見が</p>
--	---

提出されました。なお、資料の5ページ目に記載しております通し番号の最終が17となっておりますが、資料1ページ目の通し番号1に2件分整理して記載しておりますので、その点、御了承ください。

では、中身について抜粋して御説明いたします。

1ページ目のNo. 1から4までは計画全体についての御意見等をいただきました。

No. 1では、前期基本計画の評価結果やそこから後期基本計画がつくられるまでの過程等の記載を求める旨の御意見ですが、審議状況を計画書に掲載することはなじまず、改正の経緯は冊子の序論や資料編に盛り込んでいきます。また、審議会での審議状況は市ホームページで議事録として公開しております。

No. 2では、スピード感を意識した計画とすることへの御提案をいただいておりますが、毎年度、次年度以降の事業の実施計画を作成し、実施後は施策評価及び事務事業評価を行い、今後の取組への見直しや予算連動に活用しています。このPDCAサイクルにより、年度途中の新たな取組等であっても随時実施計画へ反映させることとしております。

2ページ目のNo. 3、4では事業へ優先順位を付けること、新規施策や拡充施策に対して分かりやすく表示させることの御提案をいただいておりますが、優先順位については予算編成時に検討し、事業の実施内容や拡充状況等については実施計画にその詳細を載せることとしておりますので、現状の計画案通りとさせていただきます。

No. 5では、成果指標設定の考え方等について御意見をいただいております。こちらにつきましては、この度、総合計画を総合戦略と一体化し、総合戦略内に総合評価的な指標を取り入れることとし、また、全ての施策、事業において成果指標を設定することは困難でありますので、各取組を展開する中で必要な目標等を定め、最大の効果が挙げられるよう努めてまいります。

3ページ目のNo. 6から4ページ目のNo. 12までにつきましては、具体的な施策や取組への御意見等をいただいております。ここでは、特に計画案へ反映した意見二つについて御説明いたします。

一つ目は、No. 6「津波・高潮緊急時避難場所の指定箇所数」についてです。こちらの目標値は当初60か所としておりましたが、愛知県が指定する「津波災害警戒区域」に基づき見直しを行い、このタイミングとなってしまいました。75か所に修正させていただきます。

二つ目はその下、No. 7「市民等との協働による取組」につきまして、「自治会としての防災活動の具体的なレベルアップと、防災会の横連携を目指すべき」と御意見をいただ

いております。特に横連携に関しましては、既に取り組んでおるところではありますが、より分かりやすい形での掲載とするため、主要施策と概要欄へ、「自主防災組織間の連携促進等」と追記することといたします。

以降、N o . 8 から12では、様々な視点での御意見等をいただき、真摯に受け止めたうえで、御回答を作成しております。この場では一つ一つの御説明は割愛させていただきます。

続きまして、N o . 13から17まではデジタル田園都市構想総合戦略についての御意見です。N o . 13では、D Xをあらゆる行政サービスで活用するよう要望の形でありましたが、こちらに関しましては、総合戦略の重点戦略5にD Xの推進を掲げるとともに、総合戦略の横断的目標に「デジタル社会と暮らしやすさの調和」を掲げることで重点戦略1から4まで多岐に渡り、デジタルの力を活用しずっと住み続けたいと思えるまちづくりを目指していくこととしております。

5ページ目のN o . 14から17までは、重点戦略2「弥富市への人の流れをつくる」について御意見をいただき、N o . 14では数値目標に掲げております「人口社会増減数」の説明があったほうが良いとのことでしたので、皆様に分かりやすいよう説明書きを補記させていただきます。

最後のN o . 17ですが、「駅周辺における商店街等への集客・交流を生み出すイベント」の具体例の記載についてです。こちらにつきましては、第4回の審議会で御審議いただきました修正版の改正骨子案で、具体的なイベントとして、現状の想定ですが、駅前や商店街等を活用した駅前マルシェ、1日マルシェ、軽トラ市等を挙げております。しかしながら、イベントにつきましては、今後、各担当課が関係機関等と連携・調整のうえ開催を検討してまいりますので、現行の表記にとどめております。

説明は以上となりますが、本日皆様に御審議いただき、その結果を市ホームページで公表したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

以上です。

御説明ありがとうございました。

パブリックコメントの御意見から、一部計画の中での修正もございます。そして、お2人の方から18件の御意見をいただいたというところの御説明でした。

ただいまの説明に対しまして、委員の皆様から御意見等ございましたら、御発言のほどよろしくお願いいたします。

藤井会長

今井委員	<p>今井委員、お願いします。</p> <p>パブリックコメントで投稿された方々は、やっぱり私と同じ感覚というか、スピード感を持って対応してもらおうことと、もう少し具体的に市民が知りたいことを伝えてほしいというのが伝わってくる内容だったなと思います。なので、もう少し寄り添った感じで答えていただくといいのかなと感じました。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今井委員、具体的にどこの問いに対してというところはございますか。</p>
今井委員	<p>やっぱりイベントというのも大きいと思うんですけど、市街地の計画的整備の費用対効果で事業の有益性があることを確認しているんだったら、有益性のある事業って何なのというところとか、それに対してどれだけ収入が得られるのかとか、やっぱり知りたいなと思うので、そういうものを具体的に教えてもらえるとうれしいなと思います。</p>
藤井会長	<p>分かりました。具体的にどの番号の御質問でしょうか。</p>
今井委員	<p>10番の（２）の市街地計画的整備です。</p>
藤井会長	<p>この辺りをより具体的に示せられると、ということですか。</p>
今井委員	<p>と、一番いいのかなと思いました。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今の今井委員の御意見に対して、ほかの委員の皆様からも、こここのところで御意見あれば、まずはお伺いできればと思います。いかがでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>ひとまず10番についてですか。</p>
藤井会長	<p>はい。まず、そここのところを、ほかの委員の皆様からも御意見があれば頂戴できればと思っております。</p> <p>事業の有益性を示す難しさもあるかなとは、一方では思うところではありますけれど</p>

今井委員	<p>も。</p> <p>昔なら駅周辺に商店を設けるとか、そういうことで稼ぐ方法ってあったと思うんですけど、今はデパートでも閉店してしまう時代なので、そういったことでお金を稼げる時代ではないのかなと思うんですけど、だからこそ、どういったことで有益性のある事業なのか個人的には気になったりはします。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事業の有益性のところをもう少し表現ができるのか否かというところは、事務局、市側のほうでは御意見等ございますでしょうか。</p> <p>お願いします。</p>
立石建設部長	<p>建設部長の立石です。御質問ありがとうございます。</p> <p>こちらの費用効果のB/Cにつきましては、自由通路整備のときに使っております数値のことでございまして、市街地全体での効果の数値ではないものですから、自由通路整備のための数値ということで、駅ではないということで御理解いただけたらと思います。</p>
今井委員	<p>この73ページというのは、こっちの73ページじゃなくて、総合計画の前期のほうの、そっちに書いてある73ページですか。</p>
藤井会長	<p>お願いします。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>事務局ですけれども、ページ数はパブリックコメントしたときのページ数です。今回最初に序論とかは全て入れてございますので、現状の今、皆さんのお手元にあるページだと107ページになるかと思います。よろしくお願いします。</p>
藤井会長	<p>107ページの（2）市街地の計画的整備というところについての御意見というところになります。</p>
今井委員	<p>私が勉強不足なところもあるかと思うんですけど、この全体の計画的整備を見て、有益性が想像できないんですよね。なので、今のところは具体的に決まっている事業とかとい</p>

	<p>うのがなかったりするのかなと思ったりはするんですけど、何か有益性ってどういうことなんだろうというとか、有益性のある事業って弥富の中でそれが事業としてできるというニーズがあるとか、そういうのも全部含めた上で確立したものなのかなというところとかも気になります。</p>
藤井会長	<p>お願いします。</p>
立石建設部長	<p>具体的に公表できない部分もあるものですから、実際、今、公表できる部分としては、こちらに記載させていただいている自由通路を起爆剤としてその周辺整備を広げながら今後展開していく予定をしておるものですから、また公表できるタイミングが来ましたら公表させていただきたいと思いますので、すみませんが御理解いただきたいと思います。</p>
今井委員	<p>わくわく楽しい内容であるといいなと願います。</p>
藤井会長	<p>鈴木委員、お願いします。</p>
鈴木委員	<p>一番この駅前整備が弥富市民の間でも、是非をいろんな方がいろんな意見をおっしゃっていただいた、一番直近の揉め事の一つだったように思うんですけど、市側としてはどうしても必要な事業で、これは意義があることだと。市民としては、本当に大丈夫かという意見がおおむね多かったように思うんですけど、それでも進めるということであれば、やっぱり丁寧な説明と、何かあればその都度、これは公表できないので、公表できたら教えますねということに関しても、公表された時点で聞いたところで、それおかしいじゃないですかと言っても、もうそれは逆に決まったことですからで終わっていくというジレンマがすごいあるので、だからこそ公表できないならなぜ公表できないのかと。これはもう交渉事で、先方のあることなのだというのはあるんですけど、あくまで公共事業で、恩恵を受けるのはもう市民のためですよということであれば、市民が知らずして進んでいく事業って一体何なんだというところだと思うんですね。そこの矛盾が常にあるので、なるべく公表を前提とした交渉をしていただきつつ少しでも伝わるように、分かるように、その効果を市民が実感できるような伝え方を強く望みますというところですね。意見として。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p>

<p>高谷委員</p>	<p>市民にとっても大事な事業だからこそ、ここのパブリックコメントでも御意見が出ているかなと思います。その意味で、有益性があるという確認はされているものの、どこまでそこを分かりやすく示せるかを市民も望んでいるところじゃないかという両委員の御意見だったかなと思います。</p> <p>高谷委員、どうぞ。</p> <p>鈴木委員が今、言ってくれたもので、私も一言言わせてもらいたいんだけど、4年ほど前にも都市計画審議会で、その問題で意見とかそういうのを出して下さいということで出したんですけど、その際に駅前の整備やるのはいいんだけど、実際、弥富市の都市計画の観点から見て、南北のつながりが悪いということなんですわね、簡単に言うと。だから、JRの東西の踏切をある程度、同時ぐらいにやっていただきたいということの意見は前回にも述べておいたんですけど、その後何にも変わってないもので、にぎわいを創生という話があるんですけど、今井委員さんのほうからも言われましたけど、実際、何を持ってきたのか、どういうふうにやりたいのかというのを、市のほうからの案としてないもので、その辺は透明性を上げていただきたいというのが私からの意見です。よろしくお願いします。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>御意見いただきましたところは、今回パブリックコメントに対しての市側の回答の部分での御審議というところになるかなと思いますので、委員の皆様からいただいた意見のところは、有益性の部分でもう少し細かく説明ができないかということだったかなと思いますが、この辺りは回答として公表できる範囲での検討というのは可能なものかどうかというところが、御議論のポイントかなと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>お願いします。</p>
<p>入江委員</p>	<p>今の委員の方々の御議論を聞いていますと、やはり市民の方々の非常に関心が高い公共事業ということで、恐らく御懸念としては、市の財政状況を将来的に見たときに、本当にペイするのかと、これが市民の役に立つ事業なのかどうかということについての真摯の御説明を求めているという事だと思っております。それはもちろん最もなことですので、例えば国の公共事業でも、一定程度の金額以上のものについては事前評価ということになっておりますし、この計画に対してそれを記載することは別としても、何らか</p>

藤井会長	<p>の方法で、ある程度市民の方に分かりやすく、費用対効果の評価も含めて御説明いただくというようなことを御検討いただけないかなと私からも思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>お願いします。</p>
立石建設部長	<p>今、数字を持っておるのが、自由通路に関する費用対効果のB/Cは持っているものだから、そちらの数字については回答の中に記載させていただくことは可能です。それ以外のものについては、また事業を着手する段階で評価を行いますので、またその都度ということであれば、今後対応していけると考えております。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そうしますと、回答の改善といいますか、修正としましては、費用対効果のところの公表できる数値を盛り込む部分と、今後についても進捗とともに説明をするというような内容を盛り込むことが可能ということによろしかったでしょうか。</p> <p>入江委員、お願いします。</p>
入江委員	<p>御回答ありがとうございます。大変真摯な御対応に感謝申し上げます。</p> <p>今回のパブリックコメントの中にそこまで書き込む必要があるかどうかというのは、また別に考えてもいいのかなと思います。こういったことを別のところできちんとお示しする予定ですという御回答をいただいて、それを別途実現していただくということでもいいのかと思っております。ありがとうございます。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、入江委員からお話しいただきました御提案のような回答ということで他の委員の皆様、いかがでしょうか。よろしかったでしょうかね。</p> <p>建設部長、お願いします。</p>
立石建設部長	<p>それでは、今後、別途ということで、公表させていただく方向でいきたいと思います。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>10番目の御質問については、そのように修正を検討いただくということをお願いいたし</p>

鈴木委員	<p>ます。</p> <p>そのほかのところでのパブリックコメントに対しての委員の皆様からの御意見があれば、お願いいたします。</p> <p>鈴木委員、お願いします。</p> <p>パブリックコメントに関しては二つ。</p> <p>一つは前段として、そもそもパブリックコメントがお2人方しか出てこないというのが、すごくやっぱり残念というか悲しいというか、そう感じるんですけど、審議委員としては。行政としては、弥富市に限らず、どの公共事業、国に関してもそうだと思うんですけど、パブリックコメントってなかなか出にくいという状況を理解はするんですけど、それでもやっぱりせつかくなら意見が欲しいですよ。要らんというならあれなんですけど。欲しいのであれば、もう少しパブリックコメントを出していただくような工夫を考えていかなきゃいけないと思うんですけど、今回はお2人からということで仕方ないことなんですけど、今後もこれでいいと思っておられるのか、そうじゃなければどういう工夫をしていかなきゃいけないかというのは、やっぱり課題になりますよね。増えればいいものでもないところが難しいんですけど、どう捉えていくかというのは一つ、市側の意見が欲しいのと。</p> <p>個別でもう一つ、5番のところ、政策目標と成果指標というところで、目標数字が掲げられるものを具体的にもっとというところの意見だと思うんですけど、その回答の中で、個別の指標を上げるのはなかなか困難なので具体的な施策の中でやっていきますよというところなんですけど、市民的な感覚でいくと、難しいのは分かるんですけど、結局、弥富市はこの計画を掲げて実行していくと本当にいいまちになるんですかという実感が欲しいんですね。この計画はすばらしいもので、これを実施するとこれぐらいいいまちになりますよと。これくらいという定量的なことは出せないにしても、何か市民に伝わる言葉で、この計画が意義あるものだ、どう市民がいいまちになることを実感できるようになるかというのを、どこを目指しているんだというのを、もう少し分かりやすい何か指標、数値、言葉、とにかくそこがもやっとしていて、結局、ただ制度のためにやっていますという中で、なかなか市民の腹落ちがしないのは、本当にいいまちを目指しているんですよというところの、こうなりますというのをはっきり言えるものがあるといいですねという。ちょっとうまく説明できないんですけど。</p>
------	---

藤井会長	高谷委員、お願いします。
高谷委員	<p>今の鈴木さんの御意見から、私もちょっと意見があるんですけど、同じように。このパブリックコメントって実際問題、2人しか来ていないということは、市民でもほんの一部の関心のある人だけしか来ていないと。市民全体の意見を問う場であるはずなもので、今回のパブリックコメントとか、そういうのは。そうした場合に私、自治会の会長をやっていますので、その辺で自治会のほうに、私のところでも直すのにどういうふうにするかということで、回覧で賛否を問うような格好にしております。そうした場合に市のほうとしても、市のほうの意見というか、やりたいことがある場合に、自治会のほうに回覧で賛否を問うような、今回計画がありますけどいいですかというのを取ってもらったほうが、もっとパブリックコメントよりも、市民の意見をそのまま吸い上げるという形になると思うもので、そういうふうにさせていただいたほうがいいのではないかなと私は思っております。自治会の長として、こちらの意見ですけど、そういうふうにしたほうが、市民全体の意見を吸い上げることができるのではないかなと。せっかく弥富市も全自治会あって大体1万世帯ぐらいあるんですかね。世帯にも何人もおるところまでや1人もありますけど。それでやっていますので、そうしたほうが市民の意見を吸い上げるというか、意見を反映するという意味ではよろしいのではないかなと私の意見として挙げさせていただきます。すみません、失礼しました。</p>
藤井会長	<p>高谷委員、ありがとうございます。</p> <p>お2人からの意見、二つのポイントで御意見いただいたかなと思います。</p> <p>一つはパブリックコメントの回答者、お寄せいただく方をより増やすために、今後できることはないかということが御意見だったかなと思います。</p> <p>もう一つ、5番目の質問につきましては、以前より鈴木委員からも御指摘いただいているようなポイントの部分で、達成度を見るために分かりやすい指標をとということで、議論の中でも重点戦略の4で、市への愛着度というものが一つ、指標としては示せるのではないかということで、今回も入っているところかなと思いますけれども、この辺り、御回答いただいてもよろしいですか。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
事務局（佐藤企	企画政策課長の佐藤です。

画政策課長)	<p>まず、最初のパブコメで意見がなかなか出てこないという話なんですけれども、残念ながら、こういう総合計画だけでなく計画はパブコメで具体的な意見が出てくるというのは本当に少ない状況ではあります。そのため審議会でも、最初にワークショップや市民アンケート等々で市民の皆様からの御意見をいただいて、施策のほうにも反映させているところではございますので、御理解のほうをよろしく願いいたします。</p> <p>それと、先ほど会長のほうからお話がありましたとおり、総合計画と総合戦略を一体的に策定しまして、その中で総合評価的な指標を取り入れるということで、重点戦略4の、数値目標「市への愛着度」で市民の皆様方の意識のほうをはかっていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>入江委員、お願いします。</p>
入江委員	<p>先ほど、鈴木委員からパブリックコメントの数が少ないということについての御意見があつて、それについては、例えば、今回はもう難しいですけれども、今後の宿題ということで受け止めていただいてはどうかと思っているところです。なかなかこういった行政の計画に対して、市民の皆さんが御関心を寄せるということは相当難しいのですけれども、そこをもうちょっと工夫せよという御意見だったと思うので、どういったものをどの段階でお示するかということは精査するべきですけれども、例えば、どこかの部分だけを取り出して、中学校でPBL教育の教材とかに使っていただくと、ちょっとでも中学生が例えばまちづくりに関心を持ってくれるとか、あるいは、もう少し本当に草の根的に、こういったパブリックコメントというのがあるんだけども、先ほど自治会からのお話も頂戴しましたけれども、どういうふうに御意見を収集するかということについては検討を要すると思いますけれども、多くの方々に御関心をお寄せいただくということをぜひ努力を重ねていただきたいという、そういう御意見だったと思いますので、次回以降のパブリックコメントのところで、宿題というふうに捉えていただいてはどうかと思います。</p> <p>以上です。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>どうぞお願いします。</p>

事務局（佐藤企画政策課長）	<p>大変貴重な御意見ありがとうございます。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>総合計画は、みんなの総合計画というタイトルにありますとおり、より知ってもらうことの大切さもパブリックコメントに応募いただく以上にも大切な部分かなと思いますので、そういう意味で広く知ってもらう、コメントをもらう場というところは検討し、実施していくことが大切かなと私も思います。御意見ありがとうございました。</p> <p>そのほか、パブリックコメントのところでは御意見よろしかったでしょうか。</p> <p>では、今いただいた御意見、パブリックコメントの公開を進めさせていただければと思います。貴重な御意見ありがとうございました。</p> <p>それでは、協議事項の2番目に移らせていただきます。「(2) 後期基本計画（案）について」になります。</p> <p>こちらも事務局のほうから説明をお願いいたします。</p>
事務局（伊藤）	<p>それでは、後期基本計画（案）につきまして、資料2と3を使用して御説明いたします。</p> <p>はじめに、資料2を御覧ください。</p> <p>「第2次弥富市総合計画後期基本計画の概要」といたしまして、これまでお示ししてまいりました内容をこちらに整理いたしましたので、ポイントのみ御説明いたします。</p> <p>「1 策定の趣旨」といたしまして、平成31年3月に策定した第2次弥富市総合計画の前期基本計画が、令和5年度に期間満了を迎えることから、次に掲げる3つの方針により、後期基本計画を策定いたしました。</p> <p>一つ目は、後期基本計画策定の基本的な考え方といたしまして、基本構想はそのままに、社会情勢の変化を踏まえて前期基本計画を見直すとともに、目指すべき方向性を同じくする「弥富市デジタル田園都市構想総合戦略」を包含し、一体的に策定します。</p> <p>二つ目は、成果指標等設定の考え方です。新型コロナウイルス感染症の影響で、現時点での実績値が目標値を下回るものもありますが、原則、当初の目標値を基本としつつ、実情に即した見直しを行います。</p> <p>三つ目は、主な見直し内容等といたしまして、新型コロナウイルス感染症やDX進捗による社会のデジタル化等への取組について、具体的に盛り込みます。</p>

続いて、「2 改正のポイント」といたしまして、これまで市民や中学生を対象としたアンケートや市民ワークショップのほか、前期基本計画の評価、時代潮流、審議会委員の皆様のご意見等から課題等を抽出し、今後重点的に取り組むべき方向性を取りまとめ、前期基本計画の改正骨子を作成いたしました。

その主要な施策といたしましては、防災イベントやゲーム等で防災を楽しく学ぶ環境づくりなど、市民が参加したくなる楽しいイベント等の開催。子育て情報やコロナ情報など、市民の知りたい情報をパッケージにした情報提供。行政のDX推進、なんでも相談窓口の設置など、DXの推進と個別の相談に寄り添う、便利さと安心の両立支援。こども基本法施行に伴う子ども関連施策の一体的推進。高齢者が外出したくなる楽しい環境づくり。駅周辺まちづくりや新規起業者支援など、産業・農業振興、にぎわいづくり。多様な主体との協働、行財政改革等でございます。

続きまして、資料の右上上段「3 総合戦略」を御覧ください。

本市の重要課題である人口減少を抑制しつつ、市民の暮らしやすさの向上を目指し、総合計画の関連施策を総合的・戦略的に推進して着実な成果を上げるため、総合計画と一体的に総合戦略を策定いたしました。

そして「多様な暮らしを支える“ひと”中心の持続可能なまち」を将来ビジョンとし、①弥富市に仕事をつくる、②弥富市への人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な弥富市をつくる、⑤DXで暮らしを豊かにする 以上、5つの重点戦略に「デジタル社会と暮らしやすさの調和」を横断的目標として掲げ、推進してまいります。

最後に、「4 計画の全体像」ですが、平成31年3月に策定した基本構想及び前期基本計画の枠組みを後期基本計画でも継承してまいります。なお、一番下に米印で記載しておりますが、施策目標の太字箇所は、左のページ「2 改正のポイント」に掲げた取組を主として盛り込んでいるものとなります。

続きまして、資料3を御用意ください。

表紙を1枚はねていただきますと、目次がございますが、中段あたりの第2編「後期基本計画」及び次のページ、第3編「弥富市デジタル田園都市構想総合戦略」につきましては、前回審議会で配付したものに、パブリックコメントを受け、修正等を加えたものとなっております。

この度、その前後となります、第1編の「序論」及び第4編「資料編」を作成しましたので、全体の構成を委員の皆様にご承知いただきたく、資料に入れさせていただきます。

た。なお、序論、資料編ともに、基本的には前期基本計画の記載内容を生かしつつ、時点修正を加え、後期基本計画に繋がる形に改めております。

はじめに、第1編「序論」ですが、1ページ目の第1章に「計画策定にあたって」といたしまして、後期基本計画策定の基本的な考え方等を記載するとともに、計画の愛称や位置付け、特徴等、前期基本計画を引き継ぐ内容を、こちらに示しております。

5ページ目からは、第2章として「計画策定の背景等」を掲載し、5、6ページの、時代潮流は現行計画の記載を一新し、続く7ページから15ページまでの「弥富市の概況」は、数値等の更新を行っております。

その後ろ、16ページから24ページまでは、第3章「まちづくりの課題認識」といたしまして、策定に係る基礎調査結果等を掲載しております。24ページ目には、先ほど資料2で御説明した「改正のポイント」の主要な施策と同内容となります。

以上、序論では、計画策定の考え方に始まり、現状や課題を把握し、後期基本計画で取り組む主要な施策、という組立てとなっております。

ここで1点御説明したい内容がございますので、恐れ入りますが、23ページを御覧ください。昨年度、中間評価といたしまして、令和3年度までの各施策・事業等について評価したものを皆様にも御覧いただいておりますが、令和4年度実績が固まりましたので、情報を更新いたしました。なお、令和3年度までと4年度までの点数を比較してみますと、最も高い達成度は共に基本目標1「いつまでも住み続けたい安全・安心なまち」、最も低い達成度は共に基本目標3「心豊かで文化を育む人づくりのまち」と変わりませんでした。これは、基本目標1から6までの全体の平均点では約3点以上高い結果となりました。これは、コロナ禍により様々な市民活動が抑制・停滞せざるを得ない状況から、少しずつではありますが、動き始めた結果であると考えられます。

続きまして、第4編「資料編」について、その作りを簡単に御説明いたします。

157ページを御覧ください。ここから170ページまで、5年前に策定されました基本構想に時点修正を加え、掲載しております。その後ろ、171、172ページは昨年度より、後期基本計画策定に向け、取り組んできた内容を簡潔にまとめております。そして、174ページに委員の皆様の氏名、所属等を載せさせていただいております。

最後に、本日お配りしております、この資料3につきましては、あくまで答申の形で作成しております。最終的に冊子にする上では、デザインを含め、文章の体裁を整えたり写真の挿入等を行ってまいりますことを申し添えます。

説明は以上となります。

藤井会長	<p>御説明ありがとうございました。</p> <p>前回の9月26日の6回目の審議、それからパブリックコメントの御意見をもって、第2編、第3編のところは修正がされているかなと思います。今回、第1編「序論」、そして、第4編「資料編」が前回の資料からは追加されているところかなと思います。</p> <p>ただいまの説明にいたしまして、委員の皆様から何か御意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>これで後期基本計画の計画としては、この審議の中で御承認という形にしたいなと思っておりますので、皆様のほうから、今、御意見なければ、今の内容で、審議会としては、承認をしてという形にしたいなと思いますが、よろしかったでしょうか。</p> <p>これまで、改正骨子案から始まって、5回、6回と計画のところを作って、前回も、特に成果指標等の部分で皆様には多数の御意見をいただいて、修正をしている部分もございます。元を正せば、委員の皆様の御意見をいただきながら、あるいはアンケート、そして、ワークショップでの御意見等を踏まえて、骨子案を固めていたところもございましたので、皆様の御意見を反映した形で、計画づくりができていますかなと思います。</p> <p>それでは、後期基本計画につきましては、御承認をいただくという形でよろしかったでしょうか。</p> <p>鈴木委員、お願いします。</p>
鈴木委員	<p>改正のポイントとか、最初に頂いた資料2に関しての内容は、まとめたときには、どこかに載るんですか、載らないんですか。我々向けの資料ですか。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>こちらのほうの今、お配りしております概要につきましては、これから総合計画の様々な説明のところで使用をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>
鈴木委員	<p>何らか形を変えて使われるということですね。</p> <p>何かというと、以前の計画と何がどう変わったのというのが端的に分かるとか、後期はここが目玉ですよみたいなのが、読めば書いてあるんですけど、これでも長い。序論も長い。だから、本当にもう小学5年生なのか、中学2年生なのか分からないですけど、市民一般に伝わる言葉で端的にというのが、本当に難しいとは思いますが、ポイントが分かりやすく伝わりやすくというのが、すべからくいろんな資料の先頭にあるのがあり</p>

	<p>がたいなと思います。役所さんの資料に関しては、表紙1枚見たら大体8割方書いてあることが分かるぐらいがありがたいですね。詳しくは中を見てくださいみたいな。8割は言い過ぎかもしれないですけど、何となく分かるというのが本当にありがたいなと思うので、今は何でも、ウェブの情報でも、ブログでも、結局まとめが最初にわーっとあって、それを見ると大体分かって、興味があると、中をもっと深く知りたいって人が見ればいいみたいながあるので、本当に誰でも分かるというのが大事だとは思っているので、そういう部分かなと思います。</p>
藤井会長	<p>お願いします。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>貴重な御意見ありがとうございました。 今後も市民に分かりやすく、説明のほうを、伝わっていくように心がけていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
藤井会長	<p>高谷委員、お願いします。</p>
高谷委員	<p>今、ずっと見させていただいたんだけど、107ページ。市街地の計画的整備のところ、JR・名鉄弥富駅の自由通路及び橋上駅舎の整備だとか、いろいろ書いてあるんですけど、4年ほど前にも私、意見を述べさせていただいて、さっきもちょっと言ったんですけど、やっぱり弥富市の場合は南北につながりがないんですわね。いろんな事業だとか、そういうのをやるにしても、踏切をとにかく先行するなり、何かその辺を考えると、北側にできた駅から北側に伸びる道の整備とか、その辺も同時にやっていただくというようお願いしておいたんですけど、全然その辺が入っていないんですけど、これには。この辺を土地計画整備関係部署のほうからちょっとお願いしたいんですけど。</p>
藤井会長	<p>お願いします。</p>
立石建設部長	<p>貴重な御意見ありがとうございました。 まずは、JR・名鉄の弥富駅を起点として駅周辺整備を行う予定にしておりますので、今は駅周辺整備をまず第1の起点ということで、見込みのできた段階から次の道路整備なり周辺整備に入る予定をしておるものですから、今回は記載していないということでござ</p>

高谷委員	<p>います。</p> <p>それならばそれで、駅整備した後にそういうのをやりますと書いてもらわないと。計画だもんで、やっぱりその辺をちょっと入れてもらわないと、せっかくいろいろ言った意見が何にも通じていないというか。</p>
藤井会長	<p>お願いします。</p>
立石建設部長	<p>中段に書いてある部分が、若干やんわりしているんですけども、人が行き交い、賑わいがもたらされるまちづくりを推進という部分がそういった部分につながっていくということで、まだ具体的には書いてございませんけれども、一応そういう方向性でというところでございます。</p>
高谷委員	<p>弥富市、お金がたくさんあるということやもんで、いいのではないですかという話にしたんですけど、あるんだったら同時にやっていただいてもいいと思うんだけどな、その辺は。同時進行で。</p>
立石建設部長	<p>市の計画的な部分もあるものですから、年度計画というものが。同時にということは正直、難しい部分がございますので、まずは駅を最優先、最短でということで、今、考えておるところでございます。</p>
高谷委員	<p>これ自由通路の整備ってなっておるもんで、そのときに、私もいろんな意見も出させていただいたんですけど、やっぱりお金がかかり過ぎるし、おかしいなというところがある。交渉を市のほうでできんのかなと思って。今回、議員さんのほうからいろんな回覧みたいなのでニュースレターは来たんだけど、50何億になるとかいう話も聞いたんだけど、その辺のほうはもう大丈夫なんですか、市のほうで。</p>
立石建設部長	<p>12月議会でも、変更協定についての議決もお認めいただいている中でも説明しておるんですけど、財源計画等も立てながら進めておるところでございますので、今のところ、市としてはできるという方向性を持って議案として提出して、議決をいただいたところでございます。</p>

高谷委員	<p>そうなんだけれども、その辺もうちょっと交渉して、市の負担が少なくなるようになるべくよろしく願いいたします。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>パブリックコメントの最初の議論のところでも出てきた部分かなと思います。実施の詳細な計画のところに関わる部分の御指摘も多く、高谷委員からあったのかなと思います。</p> <p>改めてこの計画の内容としては、107ページのところは変えずにということで、ほかの委員の皆さんもよろしかったでしょうか。</p> <p>鬼頭委員、お願いします。</p>
鬼頭委員	<p>これは弥富市で行事を興して人を呼び込むとか、そういうのが中心的なんですけど、弥富市は今、平島なんかは結構住宅地とかいっぱいできているんですけど、私がこの間思ったのは、弥富というのは、名古屋へ行くのにも三重県方面へ行くのにも割と便利な地域にあるような気がしてきたんですね。ちょうど国道1号線もあるし、近鉄、JR、名鉄もすごく整っていると思うので、私は弥富市で人が寄るといふか、それも大事ですけど、住んでもらえるような形、市街化区域とか調整区域ってよく分からないんですけど、住宅を建てるということはとても難しいと思うんですけど、地盤も沈下、弥富市ってそういう地域です。駅周辺にマンションとか人に住んでもらえるような、そんなような計画もここに入るといいかなと最近思ったんですけど、弥富市をどうかしようとかばっかりだったので、住んでもらえばいいんじゃないかなと最近思ったんですけど、すみません。</p>
藤井会長	<p>いえいえ、貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>何より、住んでもらえるまち、あるいは住んでいる方がいふところが総合計画の中でも中心に目標としては置いているところでございますので。</p>
鬼頭委員	<p>うたい文句でも、海南病院も近いし、そういうものもボーンと出してもいいんじゃないかなと。弥富市はこんないいところだよという何かあるといいなと、キャッチコピーが。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>児玉委員、お願いします。</p>

児玉委員	<p>やはり弥富市は海拔ゼロメートル地帯ですよ。だから安心安全に暮らせる地域づくりがすごく大事だと思うんですね。それにはどうしたらいいかというのをまず考えていただいて、やっぱり子どもたちが安心安全で住める市をつくっていただくのがやっぱり理想ですよ。そうすると、行政もいろいろお金がかかるじゃないですか。自治会の力を借りて、みんなで子どもを育てるという雰囲気づくりをこれから我々がしていかななくてはいけないかなという感じはしました。</p> <p>それで、収入はあまり皆さんの税金で賄われているわけですから、それを市の職員が我が事と思って使っていただく。例えば、この間テレビで見たんですけど、水道の漏れとか、そういうのをAIで上から観察するとか、そういう感じで支出を控えられたらいいかなという感じはしました。だから海拔ゼロメートルだけれども、ここは安心安全で住めるところだよというのをもっとアピールしていただく都市計画をしていただきたいなと思います。</p> <p>バリアフリー化で市はすごく前から都市計画をされていたと思うんですけど、やっぱり時代の流れがどんどん進んでいくじゃないですか。だからAIも私、生まれた頃にはそんなのなかったし、いろんなものを上から見るといこともなかったので、やっぱり宇宙開発が進んでいますので、そういう事業を極力、率先して使えるような市の計画をしていただくと、もっと住みやすいかなと感じました。</p>
藤井会長	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>子育てしやすいという議論もありましたし、住みやすいというところで、何より、能登半島の地震もある中で改めて防災の仕組みでは、基本目標1のところより今後大事になってくるだろうと思いますし、市民協働という部分で一緒につくるという、計画の中でよりポジティブな発信のところもあればというお2人の御意見だったかなというふうに思います。</p> <p>この辺は、今後皆さんが計画を広めていく役割も委員の皆さんにも担っていただけるといいのかなと思っていますので、そういったところで一緒に進められるといいのかなと私は思いました。</p> <p>貴重な御意見ありがとうございます。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>貴重な御意見ありがとうございました。</p> <p>今、お配りしている資料の142ページ、戦略の全体概要のところにも書いてございます</p>

	<p>けれども、やはり本市において新たな定住者を増やす取組のほうも推進しながら、「現在住んでいる市民の暮らしやすさを高め、“ひと”と“ひと”とが繋がることで安心感や賑わいを醸成するような施策を展開し、デジタルの力を活用しずっと住み続けたいと思えるまちづくりを目指します」とありますように、どこも人口減少のほうが進んでおりますので、その中でいかに弥富に住み続けていただくか、そちらのほうにも重点を置きながら、施策のほうは取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>八木委員、お願いします。</p>
八木委員	<p>先ほどの鈴木委員の御意見とちょっと重複してしまうところもあるんですけど、改正のポイントや重点戦略なんかは家族の中で、まさか子どもとかから、おまえ、どこでそんなことを聞いたんだってぐらいの情報で、家族の中でも弥富市ってこんなによくなるんだねとか、こういうふうになるんだねというのが簡単に分かるような、いろんな角度からいろんな世代に対してPRして、自然と家族の中でもそんな話が出る。そうすると、若い世代がここに住んでもいいんじゃないかとか、よくなるんじゃないかとか、こういう会話ができるような発信をしていただけるとすごくいいのかなと思いました。</p> <p>あと、せっかくここまでいろんなものを練り上げてきたのであれば、弥富市だけではなくて、市外とか県内とか全部で、弥富市はこういうまちになるんだよと、何なら今年こういうふうにするんだよという、ちょっと言い方が悪いんですけど、切羽詰まった状況まで持ってきて、引けない状況にして、やっぱり本当に真剣になっていいまちにするんだよということをアピールして、外から入る方々を集めるとか、こういうのを表にアピールするというのも、市民も当然なんですけど、市外とか県外とか、いろんなところからもアピールして、弥富市はこれだけよくなるんだよと、こういうまちになるんだよと宣伝をしていただけるといいんじゃないかなと。例えば、駅の構内だとか、バスだとかいろんなものにこういう重点目標なんかも掲げて、こういうまちになりますということでしっかりとアピールすると、より皆さんに弥富市ってこういうことを考えているんだとか、いろんなことをやっているんだねと、年代に関係なく周知できるんじゃないかなと思いましたので、ぜひ上手な宣伝とかアピールをして、毎年目標とかを見るんですけど、先ほどのパブリックコメントじゃないんですけど、2件だとか、数ポイントだとか、本当に変わったのというよ</p>

	<p>うな結果が多々あると思うので、やっぱりそこは毎年同じことを繰り返すのではなくて、やっぱりその悪い点を洗い出してブラッシュアップして、より改善をかけて、次はよく伝わるための行動として、すごい数値が出るようなことになっていただけると大変、時間をかけて審議をしている中の会議の議論が役に立つのかなと思いますので、その辺も併せてよろしくお願いします。</p>
藤井会長	<p>よろしくお願いします。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>本当に貴重な御意見だと捉えております。どんどん弥富市がいいところだとアピールしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。</p>
藤井会長	<p>鈴木委員、お願いします。</p>
鈴木委員	<p>ジャストアイデアで余計なことを言いますが、今のお話で、結局伝え方をもっと鍛えてほしいですね、行政のほうが。という観点からいくと、一つはせっかく入江先生なり、藤井先生もいらっしゃいますけど、大学の提携している自治体を集めて、我がまち自慢みたいな、プレゼン大会みたいな、都市計画としての単純なふるさと自慢じゃなくて、もう少しきちっとした計画についてを学生の皆さんに評価していただくような、何かそういう機会を、せっかく提携しているので、逆に引っ張り込んでもらって、いろんな自治体の発表を、つぶさにコンテストするみたいな。それで、どのまちに住んでみたいか単純に誰が思うかみたいなのをやってみると面白いのかなと思うので、ぜひ次年度以降のカリキュラムで組んでもらって、行政とせっかく組んでいるので、いろんな学校に向かって、我々はこんな計画でやっていますからというのを自慢しに行っていただきたいというところがありますと、ちょっと面白いかなと思いました。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>愛知学院大学、本学も弥富市さんとは連携協定させていただいておりますので、いろんな授業の中で市役所の職員さんとも一緒にやらせていただいているところがありますので、そういった中で弥富市のことを知る機会というのは学生にも必要でしょうし、そこでアピールしてもらおうという場はどれぐらい実現できるかは分かりませんが、面白いアイデアだと思いました。</p>

鈴木委員	自由な意見でいいんですか。
藤井会長	どうぞ。
鈴木委員	<p>今回の話でどうこうじゃないんですけど、内容に関してはもうこれでまとまって、しっかり反映していただいていると思うんですけど、個人的に気になっているのは、弥富市行政がどうしても、どこの組織もそうなんですけど、セクショナリズムというか、各部課レベルで計画を取りまとめている、各部課ごとの書き方のレベルがあると思うんですよね。より丁寧に書かれているところと、どうしても前例踏襲で、こんなものでいいでしょうみたいなところのニュアンスを感じる部分があるんですよね。それは各部課ごとのカラーなのではないんですけれども、実際できたところをほかの部署からレビューいただくというようなことは、現状やっていないですよね。もしやっていないのであれば、我々も審議は審議で、それぞれの立場で見ますけど、そもそも行政の中で、この計画を表に出していいですかというものを一回、ワンクッション、全部課でレビューしてもらって、おまえのところの課、こう言っているけど、これはどういうことみたいなのが、やり取りがあるとお互いの課を理解することにもつながりますし、願わくば、市民側としても、窓口で聞いたときに何かあると、いや、それうちの部署じゃないので、どこどこに聞いてくださいとか、そのことはちょっと分からないのでみたいな、さらっと受け流されるんじゃないかと、詳しくは分からなくても、そのことだったらどこどこ部課でどういうことぐらいはやっておりますよくらいな、ある程度、一次情報が部課横断的にみんな分かっているよ。それも、もちろん共有するから分かっているじゃないんですけど。ただ、なかなかその辺が実感ないので、なるべく組織単位だけじゃなくて、横串をお互いにチェックする。揚げ足取りになるというのはよろしくないんで、そうじゃなくて、もっとこうしたらいいんじゃないのという今盛んにやっているプレストミーティングのやり方で、もうちょっと他部署の計画について、ほかの課からも意見が言い合えるような、意見を取り込めるようなのも、ワンクッションあってもいいのかなと思いました。</p> <p>できたからには、一番最上位の計画と常々言っていますから、今、後ろのほうで傍聴していただいている担当の方々も、ほぼほぼ内容がある程度、一字一句覚えるということはないと思いますけど、何となく分かるというのを、どの課でもちゃんとどこの課がどういうことをやっているというのは共有していただきたいなと思ったりしていますけど、何かみんな、目が死んでいそうで、ちょっと大丈夫ですか。期待していますので、頑張ってほ</p>

<p>藤井会長</p> <p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>しいんですよ。お願いします。</p> <p>よろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどから各部の言い回し等あるとは思いますが、そちらにつきましても、一応企画政策課で一通りの目は通してございます。今回の審議会から、各部課長、担当にも審議会にできるだけ参加できる場合は参加してくださいということで、この場にも後ろのほうに参加しておりますけれども、当然、会議資料も事前に目を通していただくように話をしております。ですので、今までとは違った形で庁内でも、この計画の中身については見ていただいていると事務局は考えております。</p> <p>こういったよりよくなるための取組につきましては、今後も引き続き行っていきたいと考えております。よろしくお願いします。</p>
<p>藤井会長</p> <p>入江委員</p>	<p>入江委員、お願いします。</p> <p>今、すごくたくさん御指摘、御意見をいただいて、その中に課題はたくさん入っていたかなと思うんですけども、大きく分けると二つかなと思っております。一つは、まずは庁内でせっかくできた計画を使い倒すということですよ。ですから、職員一人一人の方々が日々の事業を執行される段階で、常にこの総合計画に立ち返り、そこから自分自身のお仕事に対して、どういった目的、手段の関係性にあるのかを理解していただきながら進めてもらうということだと思っております。そういうことを仕組みとしてつくるのであれば、やはり業績評価の目標管理等の中で、きちんと上位計画は何かということを位置づけて、御本人に書いていただき、また、上司の方々とも確認をしてもらうというような、そういう仕組みづくりが一つ効果的かなと思っております。あるいは、庁内で、例えば、若手に限らなくてもいいんですけども、どういった単位でもいいのですが、勉強会というような形で、例えば計画についてももう少し理解を深めようとか、もう少し発展的に考えてみようとか、もちろんテーマは何でもいいんですけども、そういうところに題材、教材として使っていただくといいのかなとも思いました。</p> <p>それからもう一つの大きな課題としては、やっぱり市民の方々に知っていただく。これを本当にみんなの計画として御理解いただくことに手を尽くしてくださいということだ</p>

たと思いますので、私、以前の審議会の中でも申し上げたと思うのですが、例えば、小学校、中学校の副読本みたいな形で、そこまできっちりしたものじゃなくても、パンフレットレベルでいいと思うんですが、弥富市はこういった計画を進めています、こんな仕事をしていますということ子どもたちに分かりやすく説明するようなものですよ。もちろん市民の方々にもそういったものがお配りできるといいと思うのですが、そういうものをつくっていただくであるとか、あるいは冊子体であればお金がかかりますので、今どきはSNSをうまく効果的に使っていただいて、例えばきんちゃんとかいろいろなところに出かけて行って、この計画をちょっと見てみたよとか、何でもいいんですけども、そういうことも、例えば職員の方々の中から自発的に手を挙げていただいて、若手の方は多分そういうことはお得意だと思うので、そういった情報発信をちょっと緩やかな、やわらかい形でも情報発信をしてもらって、そこに市民の方も声をいただけるような形にしてもらい、ダイレクトな何か反応がもらえると、職員の方々もきっとやりがいといいますか、そういうところにつながる可能性もあると思いますので、いろんな方法を駆使して、これが無事に出来上がりましたら、次の段階を知っていただくということもお考えいただきたいという、そういう御意見だったかなと思います。

以上、よろしく願いいたします。

藤井会長

ありがとうございます。

安藤市長、お願いします。

安藤市長

貴重な御意見、いろいろとありがとうございます。

今、入江先生からもお話が少し出ましたが、こちらのほうでも少し話しておきまして、今回、この概要版、冊子をつくる時に、ぜひ小学校の高学年や中学生、また、御高齢の方々が分かりやすい、自分の関係するようところが特化されたような概要版があってもいいのではないかなと思っておりますし、また、子どもたちについては弥富を背負っていただく次代を担う子どもたちですので、しっかりと弥富の考え方を知っていただきたいというのはありますし、御高齢の方々がいきいきと生きるためにもやはり自分たちに対する施策はこういうことがあるんだと認識していただきたいというものもあるものですから、後ろから多分怒られると私思うんですけど、仕事を増やしてということで、でもぜひそういったものをできたらなと思ってはおるところでございます。

藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員の皆様からいただいた御意見のところ、せっかく2年かけて苦労してつくってきた計画になりますので、より多くの人に知ってもらうこと、それから計画を使い倒すとおっしゃっていましたけれども、しっかりと使っていくことが、これは委員皆様の御意見として同意かなと思っております。</p> <p>まず、計画の内容のところは、大体合議いただいたかなと思っておりますが、せっかくの機会ですので、それ以外のところでも今、御意見あればいただいて、最後、確認、決議をして終わりにしようかなと思いますが、ほかの委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>手嶋委員、お願いします。</p>
手嶋委員	<p>この案については、非常に読みやすいというか、誤字脱字も非常に少なく非常に読みやすい、よくまとまっているなと思いました。ただ、3か所ほどミスがあったものですか、せっかくいい報告書でまとまるのをそのまま印刷に出すと、画竜点睛を欠くのかなという感じがしますので指摘させていただきます。</p> <p>まず、1点目ですけれども64ページ中ほど、(4)という項目がありますけれども、この欄の中の下から3行目のところ、真ん中ほどに「・」がついている文章があります。これは改行をしておかないとまずいということですね。</p> <p>それから、142ページの一番下の将来ビジョンのところですが、括弧書きで書かれている文章です。この一番最後、「持続可能」で終わっていますけれども、この後に「持続可能なまち」とつけておかないとまずいと思います。</p> <p>それからあと1点、これも非常に細かい話なんですけど、148ページの最初の文章、「○全国的に…」と書かれているところの4行目のところの文書の中で、「社会全体で、」と書かれていて、「、」に赤い色がついているんですけど、黒点に修正をしておいていただかないといけないかなと思いました。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます、手嶋委員。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>手嶋委員のおっしゃるとおりでございますので、3か所、こちらのほうは修正させていただきます。ありがとうございました。</p>

藤井会長	<p>手嶋委員、細かなところまで御配慮いただきましてありがとうございます。私も一通り読んだつもりだったんですが、気づかずに御指摘できなかったところをすみません。本当に大事なところをありがとうございます。</p> <p>そのほか、よろしかったでしょうか。</p> <p>では、以上の議論をもちまして、後期の基本計画、これで審議会としては御承認をいただくという形でよろしかったでしょうか。ありがとうございます。</p>
藤井会長	<p>4 その他</p> <p>それでは、次第の4、その他に移らせていただきます。</p> <p>その他につきましては、私のほうから資料4になりますけれども、次回の答申についての資料ということで準備をさせていただきました。お配りしました資料の一番後ろにございます資料4のところになります。答申書の内容になります。よろしかったでしょうか。次回の審議会、最後8回目に答申をさせていただく内容になっております。記から下のところ、1から5でございますので、少し読みながら説明をさせていただければと思います。取組を進められることを要望しますというところが、1から5で記載をしております。</p> <p>1つ目が、「1 急速に進行する人口減少や高齢化への対策を講じるとともに、現在住んでいる市民の暮らしやすさを高めるため、“ひと”と“ひと”とが繋がり、市民一人ひとりが主役となって活躍できる快適なまちづくりを目指すこと。」というのを掲げております。こちらは前期の基本計画からそうですけれども、愛称として掲げている「わたしとみんなの未来計画」というところで、行政だけの計画ではなく、市民にとっても役割がある計画だということを改めて強調するために設けられた内容だと思っています。</p> <p>2つ目の内容になります。「2 新型コロナウイルス感染症の流行により抑制・停滞した市民活動等を「楽しい」を前面に再開し、底上げを図っていくこと。」と記載されております。「楽しい」というワードは、ワークショップの中でも出てきた言葉ですし、この審議会の中でも出てきた言葉だったと思います。何より行動するためには楽しさは非常に大事だよねということをお共有させていただいた内容のところを書いております。</p> <p>3つ目が、「3 コロナ禍により市民自らが正確な情報を収集し、適切な行動に移すことの重要性が再認識されたことに伴い、必要な情報を的確・迅速に、市民ニーズに沿った提供を行うこと。」</p> <p>そして4つ目、「4 社会のデジタル化・DXが急展開し、市民生活の利便性が向上する中、全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できるよう、行政分野のDXを推進すると</p>

もに、情報格差の解消や情報の入手・利用が困難な方への支援を行うこと。」と書いてございます。こちら3つ目、4つ目のところは、デジタル田園都市構想総合戦略の中でDX、デジタル化というところが掲げられておりますので、この進め方というものを丁寧に格差なく、取り残されることなく進めていってほしいという内容が記載されています。

最後、5つ目になります。「5 後期基本計画に基づき、毎年、具体的な取組について戦略的な実施計画を定め、より効果的・効率的な取組となるよう進捗状況を的確に把握・検証し、市民に寄り添った行政サービスの提供を展開すること。」となります。前期の基本計画の議論の中でも、PDCAですとか検証、評価が多く出ておりましたし、何よりコロナですとか、災害のように、計画をしてもそのようにいかない事態も出てくるわけですので、柔軟に進捗の状況を把握しながら検証していくことの大切さというのが5つ目に書かれているところになります。

そういった内容で答申を作成しております。委員の皆様から御意見等ございましたら頂戴できればと思っております。いかがでしょうか。よろしかったでしょうか。

ありがとうございます。では、このような形で、次回の審議会の中で、答申書を説明させていただきます。

以上、本日御用意しました審議事項は以上になります。もし、委員の皆様からその他、御意見等ございましたら。よろしかったでしょうか。

今井委員、お願いします。

今井委員

余談になっちゃうかもしれないんですけど、SNSのところで思ったことがあって、結構、最近Xとかすごい頑張っている感じがするんですけど、今、時代はT i k T o kみたいで、うちの子、今度、国家試験があるんですけど、ずっとT i k T o kを見ているんですよ。何を見ているの？と言ったら、昔、私たちがこうやってばらばらめくっていたような試験の問題をT i k T o kでやっているんですよ。すごく楽しそうで、わくわくしながら勉強できるからいいんだわと言うので。うちの一番下の子は12歳で小学校6年生なんですけど、その子は社会状況とか、今の自民党の流れとか、そういうものもT i k T o kで情報を得るみたいで、私よりすごい詳しいんですよ。だから、T i k T o kすごいなと思って。なので、T i k T o kも、私もやっていないんですけど、頑張らなきゃなということで何かやっていただけたらなと思いました。

以上です。

藤井会長	<p>ありがとうございます。特に子どもたちに届くメディア、届け方というところは一つ、私も同じような子どもがいますのでよく分かるなと思いました。ありがとうございます。</p> <p>それでは、進行を事務局のほうに戻させていただきます。お願いします。</p>
事務局（伊藤）	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、先ほど会長より御説明いただきました答申書及び本日お決めいただきました計画案を1月29日（月）の審議会において会長より市長へ答申いただきます。会議は午後1時30分より開始といたしますが、答申のあと、委員の皆様よりお1人ずつ、この審議会委員として携わっていただいた感想等を頂戴できればと考えております。また、正式な開催通知につきましては、改めてお送りさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。事務局からは以上です。</p>
藤井会長	<p>全体を通してよろしかったですか。</p> <p>そのまま事務局のほうでお願いします。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>藤井会長を始め各委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>本日は、計画内容について御審議いただく最後となりましたが、慎重審議を賜り感謝申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、第7回弥富市総合計画審議会を閉会させていただきます。委員の皆様、本当にありがとうございました。</p>